



平成30年度 雪氷研究会を開催しました

6月11日、長岡国道事務所会議室において、新潟大学 和泉薫教授、長岡技術科学大学 上村教授、国立研究開発法人 防災化学技術研究所 雪氷防災研究センター 上石センター長をアドバイザーとしてお迎えし、平成30年度雪氷研究会を開催しました。

本研究会は、長岡国道事務所管内における冬期道路管理に関わる雪氷対策や課題への取り組みについて、参加者より発表いただき意見交換を行うことで、雪氷に関する課題の解決や手がかりを探ることを目的に、平成10年度より開催しています。

今年度は長岡国道事務所職員をはじめ、アドバイザー、新潟県、新潟県融雪協会、除雪請負業者等、50名が参加し、熱心な討論が行われました。特に融雪技術開発として、新しい研究取組について、長岡技術科学大学 上村教授より提案発表があり、新たなチャレンジをする機会となるような研究会となりました。【保全対策官(交対・雪寒担当)】



建設のすすむ八十里越事業を高校生が写真撮影

6月16日、三条商業高等学校写真部の皆さんが、秘境八十里越の大自然と共に「働く人」「建設機械」「土木構造物」の三つにスポットを当てて写真を撮影しました。

トンネルや橋梁の建設が進む八十里越工事現場にて、それぞれの感性でシャッターを切ってもらいました。

今後、「私の見た八十里越」と題し、下記の場所で撮影いただいた作品の一部を展示していく予定です。

【写真パネル展示予定】

三条市役所入り口ロビー、三条中央公民館ロビー、道の駅「漢学の里しただ」観光情報コーナー 【計画課】



編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課

TEL:0258-36-4551(代表) FAX:0258-33-7566



国土交通省北陸地方整備局

ふるさとのぬくもり伝える 道づくり

長岡国道事務所

〒940-8512 長岡市中沢4-430-1

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/index.html>

ちよーこく 検索

携帯版



スマホ版



メキシコからの留学生が日本の土木技術を学ぶ

6月26日、長岡技術科学大学のメキシコからの留学生9名が日本の土木技術を学ぶために国道289号八十里越道路の工事現場を見学しました。

この見学会は、長岡国道事務所が同大学の国際交流「ツイニング・プログラム夏期集中プログラム(メキシコ)」に協力し、実施したものです。

当日は、建設が進んでいる1号トンネル内部や5号橋梁の橋脚上部で工事担当者から工法などの説明を受けました。

留学生は、工事担当者からの説明を受けるたびに、多くの質問をしながら、日本の高度な技術を学ぼうと熱心に聞いていました。 【計画課】



1号トンネル 内部にて工法・施工機械等の説明



1号トンネル 留学生の質問に身振り手振りを交えて説明



5号橋梁 橋脚上部に上る前に安全帯を装着



5号橋梁 地上70mの高さにびっくり!